

企画展「工事中！」～立ち入り禁止！？重機の現場～ 展示詳細発表！

にっぽんか がくみらいかん

日本科学未来館(略称: 未来館、館長: 毛利衛)で2019年2月8日(金)～5月19日(日)に開催する、企画展「『工事中！』～立ち入り禁止！？重機の現場～」の展示内容をお知らせします。

本展は、普段立ち入ることができない工事現場の内側を探検する企画展です。最新の土木や建築の技術をひも解きつつ、これから工事現場に起ころうとしている劇的な変化や、そこから想像される持続可能で安全・快適な未来を来館者とともに考えます。

厳しい自然環境においても豊かな生活が成り立つのは、土木技術が作ってきた基盤のおかげです。現代でも、重機は工事現場で活躍し、人類のフロンティアを広げ続けています。また、自然災害の現場においても、重機は早期に復興するのに欠かせない道具の一つです。

本展では、整地、建設、解体といった工事現場の工程ごとに、最新のブルドーザなどの実機(全10機)、大型クレーンの運転席や解体現場で活躍する油圧ショベルのパーツなど、迫力ある重機を間近に観察しながら、工事現場の世界を体感いただけます。また、炭素繊維など、新しい素材を取り入れた技術開発も紹介します。

重機のオールスターが大集合するだけでなく、土木の最先端技術までをお見せする本展。小さなお子さまから大人までが楽しめる展示構成となっています。ぜひ、貴媒体にてご紹介いただきますようお願い申し上げます。



(上から時計回りに)四脚クローラ方式双腕型コンセプトマシン[日立建機]、SCX2000-3クローラクレーン[住友重機械建機クレーン]、Cat®312F油圧ショベル[キャタピラー]

■開催概要■

タイトル	企画展「工事中！」～立ち入り禁止！？重機の現場～
会期	2019年2月8日(金)～5月19日(日)
開館時間	10:00～17:00(入場は閉館の30分前まで)
会場	日本科学未来館(東京都江東区青海2-3-6)1階 企画展示ゾーン
休館日	火曜日(ただし、3月26日、4月2日、4月30日は開館)
入場料	大人(19歳以上)1600円(1400円)、中人(小学生～18歳)1000円(800円)、 小人(3歳～小学生未満)500円(400円) ※()内の料金は前売り、8名以上の団体料金 ※前売券は12月6日(木)午前10時よりセブンチケットほかにて販売開始(グッズ付き前売券も同時発売) ※2歳以下は無料 ※常設展もご覧いただけます ※ドームシアターは別料金(要予約) ※チケットの販売場所やお買い求め方法など、詳細は企画展特設サイトをご確認ください
主催	日本科学未来館、読売新聞社、フジテレビジョン、BS日テレ
協賛	トピー工業、アクティオ
協力	キャタピラー・ジャパン・日本キャタピラー・東京レンタル、住友重機械建機クレーン、タグチ工業、日立建機、古河ユニック
後援	東京臨海高速鉄道
特設サイト	https://kojichu2019.jp

一般からのお問い合わせ先 03-5777-8600(ハローダイヤル/全日 8:00～22:00)

本企画展に関するお問合せ先 企画展「工事中！」広報事務局 (株式会社ユース・プランニングセンター内)担当: 大山・岩川 TEL: 03-5467-8638 / FAX: 03-3499-0958 Email: kojichu2019@ypcpr.com	日本科学未来館に関するお問合せ先 日本科学未来館 事業部 広報・普及課 広報・普及担当 TEL: 03-3570-9192 / FAX: 03-3570-9150 Email: press@miraikan.jst.go.jp URL: https://www.miraikan.jst.go.jp/
--	--

[展示内容]

●プロローグ:「地球」工事中！—文明を築く技術

人類誕生からこれまでの土木技術の営みを絵巻調のイラストで紹介します。また、最新の双腕重機(四脚クローラ方式双腕型コンセプトマシン)の実機を展示し、重機に関する過去から近未来を紹介します。

●第1章:「大地」工事中！—世界を拓く重機たち

工事現場で活躍する重機と土木の技術を紹介するエリアです。ブルドーザやホイールローダの実機を間近で観察し、大地を切り拓く力強さや迫力を感じてもらうことができます。また、日本の高い技術力を持って世界の難工事を成功させた「ボスポラス海峡横断鉄道トンネル建設工事」の事例から「地中を掘る」技術の一つである「シールドマシン」を紹介します。



Cat®910Mホイールローダ【キャタピラー】

●第2章:「都市」工事中！—建物、街、生活をつくる

街中の大規模工事現場の様子を紹介するエリアです。工事現場の万能選手である油圧ショベルの実機(3台)や、ジャンボジェット機と同じ重量をつり上げ可能な大型クレーンの運転席やフックなどを展示し、私たちの生活を支える建物や街をつくる技術を紹介します。また、コンクリートや鉄鋼など、工事現場に欠かせない材料の科学を紹介します。さらに、重機を動かし街を作り上げる現場の人々の紹介や、2020年東京オリンピックに向けて急ピッチで建設が進められている「新国立競技場」の建設の様子も映像や写真で紹介します。



油圧ショベル ユンボY-35【キャタピラー】

●第3章:「都市」再・工事中！—解体の美学

街中で行われる解体工事について紹介するエリアです。狭い土地の中でいかに効率的に、また周囲に影響を与えないように解体するか、解体技術にもさまざまな工夫が凝らされています。本章では、解体現場で活躍する油圧ショベル用のアタッチメントを紹介します。鉄筋を含んだコンクリートの圧砕や鉄骨の切断、さらには鉄筋の収集を効率化する巨大電磁石など、それぞれ特色のある機能を持ったアタッチメントを、そのきめ細やかな工夫とともに紹介します。また、特殊な方法で解体された作業の様子なども紹介します。



鉄骨・鉄筋コンクリートカッター
ガジラDSカッター【タグチ工業】

●第4章:「未来」工事中？—これからも暮らしを支えるために

重機をとりまく技術革新や未来の工事現場を紹介するエリアです。現在では、ICT(情報通信技術)や自動運転、ロボット技術の導入により、より効率かつ安全に工事を進められるようになってきています。また、炭素繊維など、新しい素材を取り入れた技術開発も進んでいます。さらに、災害からの復旧作業など、重機が活躍する現場も人々の安全や快適な暮らしを支えることに、より密接になっています。文明を更新し続けるこれからの土木・建築技術に有用な新しい技術を紹介するとともに、そうした技術によって実現するかもしれない未来の社会について想像を膨らませます。



UR-W295CBRミニ・クローラクレーン
【古河ユニック】

●写真スポット

ミニ油圧ショベルとミニホイールローダの実機に乗車し、記念撮影を行えます。

●エピローグ

重機が活躍する現場やそこで働く人々の様子を大迫力のシアターエリアで体感し、人類と重機の深い関わりをご覧ください。